

KKR札幌医療センター

所属メンバー

- ・高橋 豊 (小児・アレルギーセンター長、昭和50年卒)
- ・鹿野 高明 (小児科部長、昭和52年卒)
- ・吉岡 幹朗 (新生児科部長、平成4年卒)
- ・縄手 満 (小児科医長、平成10年卒)
- ・大倉 紀子 (小児科医長、平成12年卒)
- ・大島由季代 (小児科医員、平成22年卒、非医会員)
- ・岩本 圭祐 (小児科後期研修医、平成23年卒、非医会員)
- ・伊藤 舞 (小児科後期研修医、平成24年卒、非医会員)
- ・飯淵 典子 (小児科後期研修医、平成25年卒、非医会員)

専門外来

- ・神経外来 (×2/月、永島哲郎・江川潔)
- ・心臓外来 (×2/月、佐々木理)
- ・喘息アレルギー外来 (高橋豊)
- ・血液外来 (鹿野高明)
- ・こころ外来 (縄手満)

KKR札幌医療センター

| | |
|----------|-----------------|
| 病院全体の医師数 | 102 人 |
| 小児科医師数 | 9 人 (うち非常勤 0 人) |

| | |
|---------------------|-------|
| 病院全体の病床数 | 450 床 |
| 小児科病床数(NICU、ベビーを除く) | 34 床 |
| NICU 病床数 | 3 床 |
| 新生児病床数(NICU を除く) | 0 床 |

NICU としての認定 あり (新生児特定集中治療室管理料 2)

| | |
|----------|-------------------------|
| 平均小児科外来数 | 91.65 人/日 |
| 平均時間外外来数 | 4.4 人/日 (小児科医が診察したものです) |

| | |
|------------|-------------------------|
| 年間入院患者数 | 2,653 人/年 (ベビー入院除く) |
| 年間のべ入院患者数 | 16,014 人/年 (入院患者数×入院日数) |
| 年間時間外入院患者数 | 951 人/年 |

| | |
|----------------------|---------|
| 年間分娩数 | 560 人/年 |
| 年間低出生体重児(2,500g 未満)数 | 69 人/年 |
| 極低出生体重児(1,500g 未満)数 | 2 人/年 |
| 年間呼吸管理患者数 | 8 人/年 |
| (新生児挿管 3 人、DPAP 5 人) | |

論文、著書など

1. 高橋豊、伊藤舞、岩本圭祐、大島由季代、津曲俊太郎、築詰紀子、縄手満、吉岡幹朗、鹿野高明. 小児喘息発作時における $\beta 2$ 刺激薬吸入前後の呼気NO値. 小児科学会雑誌 2015;119:1639-1642
2. 高橋豊、飯渕典子、岩本圭祐、大島由季代、大倉有加、縄手満、吉岡幹朗、鹿野高明. インフルエンザ罹患時にはウイルス型にかかわらず小児喘息患者の呼気NO値は低下する. 喘息 2016;28:187-190
3. 高橋豊、飯渕典子、岩本圭祐、大島由季代、大倉有加、縄手満、吉岡幹朗、鹿野高明. 乳児アトピー性皮膚炎における血清ビタミンD値の検討. 札幌市医師会医学会雑誌. 2015;299:165-166
4. 川村信明、飯塚進、高橋豊、東館義仁、中田修二、富樫武弘、渡辺 徹. 小児に対するインフルエンザ菌及び肺炎球菌ワクチン接種の推進に関する調査研究-第7報. 札幌市医師会医学雑誌 2015;40:171-172
5. 高橋晴香、鹿野高明、高橋豊、太田八千雄. 目で診る小児科 3D-MRCPで確認した腭短観合流異常症の一例. 小児科 2015;56:1967-1968
6. 朝日新聞北海道版 「けんこう処方箋」.
「清潔」「無菌」こだわりすぎずに 2015. 8. 5.
子どものアレルギー、変わる治療 2015. 9. 16
アレルギーマーチ防ぐには 2015. 10. 21
秋…小児ぜんそくの注意点 2015. 11. 25
ぜんそく発作、予防も大切 2016. 1. 13
子どもの高熱、慌てず解熱剤を 2016. 2. 10
寒冷地、ビタミンD不足に注意 2016. 3. 9
7. 吉岡幹朗、菊田英明. EBウイルス関連Tリンパ球増殖性疾患（慢性活動性EBウイルス感染症・EBウイルス関連血球貪食性リンパ組織球症）. EBウイルス 改訂第3版、診断と治療社、2015：90-95
8. 縄手満、伊藤舞、岩本圭祐、大島由季代、大倉有加、吉岡幹朗、鹿野高明、高橋豊. 子どもの日常チェックリストにより継続して評価した発達障害の1例. 臨床小児医学、2015;63:37-41
9. 大倉有加、有賀正. C3欠損症. 血液フロンティア、医薬ジャーナル社、2015：9月号, 41-49
10. 大倉有加、有賀正. 補体系の異常. 小児疾患診療のための病態生理 2、東京医学社、2015：771-775
11. 大倉有加、有賀正. C3欠損症. . 新領域別症候群シリーズ No. 36 免疫症候群、日本臨床社、2016：854-858

12. 大倉有加、有賀正. C3 gain-of-function. . 新領域別症候群シリーズ No. 36 免疫症候群、日本臨床社、2016: 859-862
13. 大倉有加、有賀正. MCP (CD46)欠損症. . 新領域別症候群シリーズ No. 36 免疫症候群、日本臨床社、2016: 909-911
14. 大倉有加、有賀正. Membrane attack complex inhibitor (CD59)欠損症. . 新領域別症候群シリーズ No. 36 免疫症候群、日本臨床社、2016: 913-916
15. 大倉有加、有賀正. 補体H因子に対する自己抗体による非典型的溶血性尿毒症症候群. 新領域別症候群シリーズ No. 36 免疫症候群、日本臨床社、2016: 942-944
16. Okura, Y. Kobayashi, I. Yamada, M. Sasaki, S. Yamada, Y. Kamioka, I. Kanai, R. Takahashi, Y. Ariga, T. Clinical characteristics and genotype-phenotype correlations in C3 deficiency. J Allergy Clin Immunol 2016; 137: 640-644, e1
17. Okura, Y. Tsumagari, S. Nawate, M. Yoshioka, M. Shikano, T. Takahashi, Y.. Juvenile Idiopathic Arthritis with Rice Bodies in a 2-Year-Old Girl. J Pediatr 2016; 172: 220

学会発表

全国学会

1. 高橋豊、伊藤舞、岩本圭祐、大島由季代、津曲俊太郎、築詰紀子、縄手満、吉岡幹朗、鹿野高明. 小児非アトピー型喘息患者の検討-第2報. 第64回日本アレルギー学会学術大会, 東京, 2015. 5. 26-28
2. 森美喜夫、中山義雄、片山正、近利雄、鳥越貞義、高山修二、仁田原義之、高橋豊、他. 平成26年度全国広域化予防接種実施の進捗状況とその問題点. 第26回日本小児科医会総会フォーラム. 大分 2015. 6. 14
3. 岩本 圭祐、吉岡 幹朗. 過去5年間に当院にて治療を行った川崎病274例の検討. 第35回日本川崎病学会・学術集会、鹿児島、2015. 10. 9-10
4. 大倉有加、飯淵典子、伊藤舞、岩本圭祐、大島由季代、縄手満、吉岡幹朗、鹿野高明、高橋豊. 易感染性に加え、滑膜炎、耳下腺炎、組織球性壊死性リンパ節炎を合併したC3欠損症の1例. 第25回日本小児リウマチ学会、金沢、2015. 10. 9-11
5. 大倉有加、飯淵典子、伊藤舞、岩本圭祐、大島由季代、縄手満、吉岡幹朗、鹿野高明、高橋豊. 3歳未満に施行した食物経口負荷試験の有用性 第2報. 第52回日本小児アレルギー学会、奈良、2015. 11. 21-22
6. 高橋豊、飯淵典子、伊藤舞、岩本圭祐、大島由季代、大倉有加、縄手満、吉岡幹朗、鹿野高明. 乳児アトピー性皮膚炎における血清ビタミンD値の検討-第2報: 季節と受診数、重症度の関係. 第52回日本小児アレルギー学会、奈良、2015. 11. 21-22

地方学会

1. 大島由季代、飯渕典子、伊藤舞、岩本圭祐、大倉有加、縄手満、吉岡幹朗、鹿野高明、高橋豊. 胃腸炎症状を主訴に受診したリステリア髄膜炎の一例. 豊平河畔研究会、札幌、2015. 11. 5
2. 大倉有加、飯渕典子、伊藤舞、岩本圭祐、大島由季代、縄手満、吉岡幹朗、鹿野高明、高橋豊、築詰紀子. 3歳未満に施行した食物経口負荷試験(OFC)の有用性 第2報. 日本小児科学会北海道地方会第294回例会、札幌、2015. 12. 13
3. 韓蔚、大谷勇紀、三宅のえる、田村卓也、齋秀二、小杉山清隆. 杉原暁美、佐々木康、南雲淳、岩田正道、衣川佳数(手稲溪仁会病院). 大島由季代、縄手満. 潜在性甲状腺機能亢進症に解離性障害を合併した女兒例. 北海道小児内分泌研究会、札幌、2016. 1. 30
4. 縄手 満、飯渕典子、伊藤舞、岩本圭祐、大島由季代、大倉有加、吉岡幹朗、鹿野高明、高橋 豊. 易感染性に加え、滑膜炎、耳下腺炎、組織球性壊死性リンパ節炎を合併したC3欠損症の1例. 第28回北海道小児リウマチ性研究会、札幌、2016. 2. 13
5. 岩本 圭祐、飯渕 典子、伊藤 舞、大島 由季代、大倉 有加、縄手 満、吉岡 幹朗、鹿野 高明、高橋 豊. 過去5年間に当院にて治療を行った川崎病274例の検討. 日本小児科学会北海道地方会 第295回例会、札幌、2016. 2. 14
6. 高橋豊、飯渕典子、伊藤舞、岩本圭祐、大島由季代、大倉有加、縄手満、吉岡幹朗、鹿野高明. 乳児アトピー性皮膚炎における血清ビタミンD値の検討-第2報. 札幌医学会. 札幌 2016. 2. 21
7. 川村信明、飯塚進、高橋豊、東館義仁、中田修二、富樫武弘、渡辺 徹. 小児に対するインフルエンザ菌及び肺炎球菌ワクチン接種の推進に関する調査研究-第8報. 札幌医学会. 札幌 2016. 2. 21
8. 飯塚進、渡辺徹、中田修二、菊田英明、小池明美、高橋豊、東館義仁、母坪智之、澤田博行、川村信明、新飯田裕一. 札幌市の小中学校・幼稚園・保育園における食物アナフィラキシー対策網(第5報). 札幌医学会. 札幌 2016. 2. 21
9. 大倉有加、竹崎俊一郎、山田雅文、小林一郎、有賀正. 肺動脈性肺高血圧症が急速に進行してクライシスをきたした混合性結合組織病(MCTD)の11歳女兒例. 第2回北海道小児肺高血圧研究会、札幌、2016. 2. 29

講演

1. 高橋豊. 食物アレルギーについて. 美唄市医師会講演会. 美唄市 2015. 6. 6
2. 高橋豊. 食物アレルギーup to date～学校における食物アレルギー対応を中心に～. 江別市教育研究会養護教諭部会. 江別、2015. 7. 9
3. 高橋豊. 呼気NOを用いた小児喘息の診断と治療～遷延性咳嗽も含めて～. 小児難治性喘息フォーラム. 札幌, 2015. 10. 31

4. 大島由季代、縄手満. 身体化および解離を併存した潜在性甲状腺機能亢進症の症例（非公開）. 次世代の会、札幌、2016. 2. 6
5. 吉岡幹朗. 小児初期救急医療における留意事項・症例検討. 平成 27 年度北海道小児救急医療地域研修会、札幌、2016. 2. 7

その他社会貢献など

高橋 豊

日本小児アレルギー学会理事
日本アレルギー協会北海道支部幹事（事務局）
北海道アレルギー研究会幹事
北海道小児最新医療研究会幹事
北海道小児リウマチ性疾患研究会幹事
札幌市小児科医会幹事
北海道社会保険審査委員
特別児童扶養手当審査委員

吉岡幹朗

北海道小児感染症研究会世話人
北海道小児科医会理事

縄手 満

豊平区児童虐待予防・防止ネットワーク会議相談員

大倉有加

平成27年度厚生労働科学研究 難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業）
若年性特発性関節炎を主とした小児リウマチ性疾患の診断基準・重症度分類の標準化
とエビデンスに基づいた診療ガイドラインの策定に関する研究（森班）
若年性特発性関節炎分担班 研究協力者
日本リウマチ学会 小児リウマチ調査検討小委員会
JIA診療の手引きハンドブック作成ワーキンググループ